

JA自己改革推進レポート（JA鳥取いなば）2月号

（1）原木シイタケの植菌体験を実施

JA鳥取いなばせんだい支店は1月17日、原木シイタケの植菌体験を鳥取市立美和小学校で開いた。3年生と4年生の児童31人がコナラの本木に、肉厚で大きさが特徴のジャンボシイタケ「菌興115号」を植菌した。

この体験は、支店行動計画の一環で、子どもたちに農業のことや地域の農産物である原木シイタケ生産への興味を深めてもらうために実施した。



（2）JA鳥取いなば女性会鳥取支部がチャリティー餅つきの収益金を寄付

JA鳥取いなば女性会鳥取支部は1月30日、昨年末に実施したチャリティー餅つきで得た餅販売の収益金73,188円を、福祉事業を担う同JA子会社「わかば」に寄付した。

この取り組みは、地域貢献活動「米ひと握り運動」の一環で行っている。同支部は毎年、年末に青壮年部員たちと協力して餅つきを行い、餅やぜんざいを販売。収益金を福祉施設に寄贈している。

